

ジャパングラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

7月度理事会報告

皆様からの義援金、サンフランシスコ総領事館を通じ被災地へ 第17回定期総会、7月23日に開催

ジャパングラブ7月度の理事会は7月6日(水)午後6時半から日米会々議室において上野会長ら理事が出席して開かれました。

冒頭上野会長から6月28日、「東日本大震災」の災害地におけるジャパングラブ会員等からドネーションされた義援金(\$4,500)を猪俣弘司総領事に手渡し、総領事からお礼状を受け取った旨報告がありその後議事に移りました。

今月23日(土)第17回定期総会を迎える前の理事会だけに協議はほとんど当日の運営や、役割分担に集中し、総司会を大隅敏男副会長が務める事を決めました。プログラムは上野正安会長、来賓の挨拶、2011年度の事業報告と次年度の事業計画、次いで会計報告と予算案等の他2012年度理事候補者名の発表そしてそれらの議案の承認等が予定されています。

また、来年1月28日(土)金光チャーチホールで開催を予定していました「餅つき新年会」は会場をJCCCNC 1階ホール(昨年迄の開催場所)に変更して、1月29日(日曜日)にする事を決定しました、新年会については詳細を後日発表します。

尚、今回の総会終了後は、昨年好評であったバスク・レストラン自慢の料理を食べながらの懇親会です、「会員同志の絆をしっかりと築きましょう」と申し合わせて今月の理事会を閉じました。

次回8月度理事会は日米会々議室に於いて8月3日(水曜日)午後6時30分より開催予定です。

定期総会々場 バスク文化センター *Basque Cultural Center* とはどんな所?

バスクは、スペインの自治州の一つ、州都はビトリアでスペイン北部のフランスに接する地域にあります。スペインでも美食地帯として知られています。そしてここバスク・カルチュラル・センターにはかなり高い評価を得ている**レストラン**があります。今回も昨年好評をいただいたこの会場を選びました、定期総会会場としての個室会場があり、引き続き開かれる懇親食事にふさわしい所です。是非大勢の会員の参加を期待します。

駐車場(無料)は敷地内にあり、許容量は十分ですので安心して車で来ていただけます。

ジャパングラブ・ゴルフ大会参加者募集



日時:7月31日(日曜日)午前10時スタート
9時30分までに集合してください

場所: Willow Park Golf Course

方式: ダブルペリア方式

参加費: \$ 65.00

締切:7月22日(必着) 電話での申し込みも可

申し込み・チェック宛先: Mr. Okiyama

問い合わせ: 沖山理事(415)753-6492 まで

今回のトーナメントには、今迄にない豪華賞品も用意されています、奮ってご参加下さい

ありがとう
ございました

東日本大震災への義援金

ジャパングラブ会員、さらに会員以外の方々から寄せられた東日本大震災の被災地における義援金を上野正安会長らが、6月28日在サンフランシスコ日本国総領事館を訪れ猪俣弘司総領事に手渡しこれに対して猪俣総領事から感謝の言葉と共に日本赤十字社に託し必ず被災地に届けますとの言葉が伝えられました。

この日総領事に渡されたジャパングラブの義援金は皆さんから寄せられた4,180ドルに、5月28日に催したガレージセール収益金の中から320ドルを加えて合計4,500ドルでした。

(5月15日以降に募金された方、敬称略)

ウォルッシュ 文子

皆さん、ありがとうございました



写真左より: 市川俊治領事相談員、福光哲史副会長、猪俣弘司総領事、上野正安会長、沖山泰彦会計理事



・特・別・連・載・

「災害に対する心構え」を考える

今回は5月号、6月号に続いての特別連載第3回「地震保険」について、更にサンフランシスコ日本国総領事館から寄せられた災害時の対応について今回の「東日本大震災」直後に立ち上げられた緊急対策本部の対応をもとに説明していただきました。

今迄の連載について、あるいはそれ以外の事柄でご質問、ご意見がありましたらぜひお寄せ下さい、ご質問には会として調べてお答えいたします。



「地震保険」について

保険の先進国アメリカだから当然「地震保険」はあります。過去に大きな地震に見舞われ、かつ20年以内に大地震が来ると予想されているベイエリア・サンフランシスコだけに、地震保険にほとんどの人が加入しているのではと思いきや、その普及率は10～15%位ではないかとの事。

なぜこのサンフランシスコで地震保険加入者が少ないのか、その理由はほぼ半強制的に加入が義務付けられている火災保険に比べて地震保険の保険料が20倍以上と高く、かつ加入も任意だと言う事に加えて1905年の地震の教訓から防災用水路が完備され一旦火災が起きてもすぐに消火出来る体制が確立されている火災保険に比べ、地震は街全体を破壊する力を持つだけに保険会社のリスクが高くそれが地震保険の料金の高い理由の様です。

1989年に起きたサンフランシスコ地震(ロマ・プリータ地震)ではレンガ造りなど特別な建物などに被害があったものの多くの建物に大きな被害がなかった事等から市民の間に地震に対する危機感が薄いのも大きな原因の様です。

今回の東日本大震災では過去の津波から得た経験からの想定によって対策を立てていた事が、これを上回る津波が大災害に繋がった事を考えるとサンフランシスコでも過去の地震の規模を想定し安心と思う事は危険かもしれません。

今回の日本での災害を考えて念のために一度地震保険を調べてみようかと思われる方、新しくマイホームを購入される方等、地震保険に関心のある方にはジャパンクラブ事務所に資料がありますのでご連絡いただければ郵送いたします。

備えは安心、安全の一里塚かもしれませんネ。

会員の皆様へのお願い

防災グッズの点検

2009年12月に全会員にお配りした防災グッズはいざと言う時にすぐ持ち出せる様に保管されていますか？

配布から2年近くなります、この機会にもう一度内容物を確認して使用期限、性能や使い方等を確かめてください。更に先月号にあった緊急時に備えておきたい「非常用キット」や避難計画などを再確認しましょう。



災害発生時の領事館の対応について

このレポートはサンフランシスコ日本国総領事館よりいただきました

震災後既に4ヶ月が経過しましたが、東日本大震災で亡くなられた方にお悔やみと被災された皆様には改めて心よりお見舞い申し上げます。

今回の東日本大震災は津波等による被害がかつてない程の規模でしたが、当館が震災直後から取った対応について説明したいと思います。まず、直後に緊急対策本部を立ち上げました。

当初は「WCATWC」から津波警報が発出され、8時間から10時間後には当地にも津波が到達する可能性が想定されていたこともあり、コア・チームが徹夜で情報収集等を行い、早朝に緊急メールシステム(当館HPから登録可能でメール・アドレスが登録されていれば受信可能)と大規模災害緊急連絡システム(在留届にメール・アドレスが記入されていれば自動的に配信される)によって在留邦人の皆様に注意喚起をしました。

また、当館HPにいち早く収集した情報を掲載し、日本国内の被害状況、安否照会方法、鉄道、空港等の状況についてもお知らせしました。総領事のメッセージや義援金受付のために当館が他の在外公館に先駆けて口座開設のお知らせを掲載しました。(6月28日付で1,784,569.30ドルの義援金が寄せられています)

電話やメール、領事窓口にも多くの照会や支援申し入れ、たくさんの方の義援金、千羽鶴、被災者に対する励ましの手紙やカードが寄せられました。(これらの一部は領事待合室に展示しています)

この度の日本の大震災に対しては、特に米国の支援は米軍約2万人が派遣され震災支援に当たってくれました。また、当地では米国の多くの団体や小学生から老人に至る個人、在留邦人の方々がチャリティ行事を催し義援金を集めてくれています。これらの暖かい支援本当にありがとうございます。

サンフランシスコは1906年と1989年に大地震を経験し、将来も地震への不安があります。総領事館としては、災害発生時には迅速かつ正確な情報の収集(事態の把握)とその情報の在留邦人の方々への提供、邦人の安否確認を最優先に対応を考えていますので、今後共宜しくお願い申し上げます。

皆さんは既に登録されていますか？(登録方法等ご質問がありましたら事務局迄お問い合わせ下さい)

・緊急メールシステム(サンフランシスコ総領事館HPから登録可能でメール・アドレスが登録されていれば受信可能)

・大規模災害緊急連絡システム(在留届にメール・アドレスが記入されていれば自動的に配信される)
事務局にて補足